

「寺子屋郡山」 3期受講生募集要項

主催 「寺子屋郡山」 会長 富田孝志
共催 郡山市教育委員会

分からない子、もっと分かりたい子 寺子屋で勉強しよう 小・中学生集まれ！



学校の勉強の中で、どうしても分からない、納得いかないことはありませんか。
今やっていることに飽きたらず、さらに上のレベルの勉強をやってみたい人はいませんか。
勉強の本質に迫り、やる気を起こさせ、学ぶ楽しさをつかめる「寺子屋郡山」を開講します。
あなたも参加してみませんか。新しい自分に生まれ変わるかもしれませんよ。

<令和8年度 開講期日(各土曜日)>

3期	10月31日～12月 5日、19日	※申込期間	9月17日(木)～10月16日(金)
4期	1月16日～ 3月 6日	※申込期間	11月12日(木)～12月11日(金)

※ 4期については、講座開始前に改めて募集を行います。

<< 3期受講生募集 >>

[内 容] 各自自分のやりたい教科を、原則自学自習をする。疑問点を担当講師に聞き解決を図る。
また、より発展教材を望む場合は講師に相談をする。

[受講対象者] 小学5・6年生及び、中学1～3年生(義務教育学校5～9年生) 50名

[教 科] 国語、算数・数学、英語、理科、社会 (この中から自分で好きな教科を学習する。)

[開 講 日] ①10月31日 ②11月 7日 ③11月14日 ④11月21日
⑤11月28日 ⑥12月 5日 ⑦12月19日 (全7回)

[時 間] 13:30～16:30 (13:00～受付)

[場 所] 郡山市中央公民館(2階 講義室5・6・7) 郡山市麓山1-8-4
*駐車場は麓山地区立体駐車場をご利用ください。

[受 講 料] 無料

[講 師] 長年にわたり社会の各分野(小中高教職、企業等)で培って得た知力や専門性を郡山の将来
を担う子供たちに還元したいと自ら志願した人たちが講師となり、ボランティアで行います。

[そ の 他] 発熱や風邪の症状がある場合は参加を控えてください。

[申込方法及び締切日等]

①往復はがきに必要事項を記入の上(形式は裏面)、学校教育推進課に令和8年10月16日
(金)までに郵送で申込んでください。(必着)

※個人情報「寺子屋郡山」以外に出すことはありません。

申込先: 〒963-8024 郡山市役所内郵便局留 郡山市教育委員会学校教育推進課 宛

②下の二次元コードからも申込みが可能です。



[問い合わせ] 郡山市教育委員会 学校教育推進課 電話 924-2431
※中央公民館には問い合わせをしないでください。

往復はがきによる申し込み方法と記入例

往信	〒963-8024	【返信の裏】 ※ 返信の裏面は、何も記入しない
	郡山市役所内郵便局留 郡山市教育委員会 学校教育推進課宛	

返信	郵便番号 自分の名前様	【往信の裏】 ① 「寺子屋郡山」3期を受講希望します ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 児童生徒氏名（ふりがな） ⑤ 保護者氏名 ⑥ 電話番号 ⑦ 学校名 学年 性別 ⑧ 郡山市中央公民館までの交通手段 （徒歩、自転車、公共交通機関、 家人の送迎、その他等）を記入 ⑨ 特に受講したい教科名（複数可） ⑩ 受講理由 ※ 往信の裏面の上記の内容は、できるだけ 受講生本人が記入すること。
	自分の住所	

<昨年度までの受講生、保護者の感想を掲載します。小・中学生の皆さんの受講をお待ちしています。>

【小学生の感想】（一部抜粋）

- ・自分一人では自学や宿題のやり方が分からず大変でしたが、先生たちが分からない所を分かるまで教えてくださったので、勉強の仕方の工夫が分かって、前よりもできるようになりました。
- ・寺子屋郡山にはいろいろな学年の教科書があります。上の学年の問題を予習したり、下の学年の問題を復習したりすることができるので、以前よりも勉強が好きになりました。

【中学生の感想】（一部抜粋）

- ・数学において、公式ややり方を覚えろと言われても、なぜそうなるか気になり前に進めないでいましたが、ここ「寺子屋郡山」では、先生方が理屈をわかりやすく、ていねいに教えて下さるので、以前より楽しく問題が解けるようになりました。
- ・家や学校で解いてみて分からなかった問題を、先生方に教えていただけたおかげで、入試本番では、今までできなかった最後の難しい問題で正解することができました。寺子屋で毎回3時間集中することに慣れたおかげで、集中力を切らずに臨むことができました。

【保護者の感想】（一部抜粋）

- ・今では、寺子屋郡山で学習することが本人の生活の一部になっています。高い志をもった仲間たちと、同じ空間で集中して学ぶことができ、分からないと思ったときにすぐに最強の先生方に質問して解き方を教えていただけることが本人にとってはとても大切な時間のようです。そのような体験をさせていただいている寺子屋郡山の存在に感謝しています。